

LCV「諏訪圏情報BOX」について

○ **放送日** 平成30年12月4日（火）

○ **テーマ**
今シーズンの諏訪湖のワカサギについて

○ **出演者**
諏訪地域振興局農政課

○ **聞き手とのやりとり（概要）**

Q1 ワカサギのシーズンがやってきました。

すでにワカサギ釣りをお楽しみいただいた方も多と思います。

ワカサギの甘露煮などは諏訪地域の名産品としても有名ですし、季節の食材としてご家庭でも欠かせない食材でもありますね。

Q2 今年のワカサギはどのような状況でしょうか。

- ・長野県水産試験場諏訪支場では、定期的に魚群探知機による魚の資源量調査を行っています。
- ・諏訪湖漁業協同組合でも、6月からワカサギの試し獲りを行って、資源量を確認しています。
- ・これらの調査の結果から、今年の9月時点では平成25年、平成27年よりも多い6000万尾程度の資源量と推定されており、その後の水産試験場諏訪支場の調査でも十分な量のワカサギがいることが確認されています。
- ・ご存じのとおり、おとし平成28年7月にワカサギをはじめとした魚の大量死が発生し、8割以上のワカサギが死んでしまいました。
- ・諏訪湖漁業協同組合によるワカサギ卵の放流の努力や釣りをされる皆様による時間や量の自主抑制への御協力により、ワカサギの資源量は大量死以前のレベルに戻ってきています。

Q3 ワカサギに係る連絡会議が開催されたようですが、どのような内容だったのでしょうか。

- ・ワカサギは、水産業だけでなく観光業や諏訪の食文化にとって大切な財産です。かつては年間300t前後の漁獲量があったのですが、平成に入って減少

し、ここ 10 年は年間 20 t 前後となっています。

- ・大切な資源を確保するために、平成 17 年から関係者による「諏訪湖のワカサギに係る連絡会議」を開催し、その年のワカサギの漁や釣りに係るルールを設定し、自主抑制を実施していただいています。
- ・今年度の会議は 10 月 17 日に開催されました。その結果、今年の 12 月 1 日から来年の 5 月 31 日まで、釣りをされる一般の方に対して、釣り時間は午前 7 時から午後 3 時 30 分までという自主抑制をお願いすることとなりました。例年は釣量についても上限を設けていましたが、今季はワカサギ資源の回復が見込まれるため、上限はありません。漁師の方には、投網漁を週 3 日、1 日 3 時間までとする取り組みを行っていただいています。
- ・また、諏訪湖漁業協同組合の遊漁規則に基づき、ワカサギ禁漁区が設定されていますが、本年から一部変更となっておりますので、釣りをする際には、掲示等をあらかじめ確認していただきたいと思ひます。

Q 4 最後に

- ・今年状況は先ほどお話ししたとおりですが、魚の量は通常のレベルに戻っています。
- ・釣りをされる方は、決められたルールを守り、安全面にも気を付けながらワカサギ釣りを楽しんでいただきたいと思います。
ワカサギ釣りに関するお問い合わせは諏訪湖漁業協同組合、電話番号 0266-52-4055、又は各釣り船店へお問い合わせください。
- ・今年の冬も諏訪の味であるワカサギを十分に堪能していただけるシーズンになるといいなと思ひております。